

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校浜松医療学院
設置者名	学校法人 森島学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	鍼灸学科	夜・通信	540 時間	240 時間	
	柔道整復学科	夜・通信	690 時間	240 時間	
文化教養専門課程	アスレティックトレーナー学科	①夜・通信	180 時間	90 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/">https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校浜松医療学院
設置者名	学校法人森島学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<a href="https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/">https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元浜松市浜北区長	2021.5.28 ～ 2023.5.27	公的分野からの専門的見識を受ける
非常勤	元浜松市環境部参事	2021.5.28 ～ 2023.5.27	公的分野からの専門的見識を受ける
非常勤	オフィスクメ 代表取締役	2021.5.28 ～ 2023.5.27	経営士としての専門的見識を受ける
非常勤	株式会社スモールポンド 代表取締役	2021.5.28 ～ 2023.5.27	医療分野の専門的見識を受ける
非常勤	元静岡県立高校校長	2021.5.28 ～ 2023.5.27	教育分野からの専門的見識を受ける
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校浜松医療学院
設置者名	学校法人森島学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業計画(シラバス)は資格取得に必要な学力と実技力の習熟を念頭に各科目担当教員が学科教員と協議を行い、シラバスの作成・公表を開講までに行っている。</li> <li>・ 授業計画(シラバス)に「授業目標、概要、助言、学習支援方法、成績評価方法」等を記載し、学内連絡ツール(Desk nets'=グループウェア)を通じて全学年に回覧している。また、学校ホームページも公表している。</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/">https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/</a>
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成績評価は定期試験、実習成果、履修状況等を総合的に勘案して行うことを「学則」にて明示している。</li> <li>・ 学生便覧に「学則」を掲載して成績評価、課程の修了等に関する基準を明記するとともに、「試験規程」にて各種判定(試験、進級、卒業)に関する基準に従い、厳格かつ適正に単位授与を実施している。</li> </ul> <p>※学生便覧(学則掲載)は年度始めに全学生に配布している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>客観的な指標の算出方法として、履修科目における評価項目（試験・レポート等）の合計を平均点で算出して点数化（満点=100点）し、成績評価の判定を実施している。 また点数評価をもとに学科、学年別における成績の分布状況の把握に努めている。</li> <li>上記の基準に則り、点数化した数値（点数評価）をABC評価に変換して成績評価の客観的な指標としている。 A：(80点以上) B：(79点～70点) C：(69点～60点) F：(59点以下)</li> </ul>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	<p>令和4年度 学生便覧（全学生に配布） 成績個票（掲載項目：平均、標準偏差、偏差値グラフ、順位） <a href="https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/">https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>卒業認定については学則第4章第14条において「本校の教育課程の修了または卒業は、所定の過程の授業科目がすべて合格したものについて進級判定会議及び卒業判定会議で成績評価のうえ学院長が認める。」と明記されている。</li> <li>学生便覧に「学則」を掲載して成績評価、課程の修了等に関する基準を明記する とともに、「試験規程」にて各種判定（試験、進級、卒業）に関する基準に従い卒業認定を行っている。</li> </ul>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	<p>令和4年度 学生便覧（全学生に配布） <a href="https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/">https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校浜松医療学院
設置者名	学校法人森島学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/">https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/">https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/</a>
財産目録	<a href="https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/">https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/</a>
事業報告書	<a href="https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/">https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/">https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/</a>

2. 教育活動に係る情報

①-1 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2660時間	1970時間	—時間	180時間	—時間	510時間
			2660時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		84人	0人	6人	10人	16人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業計画書（シラバス）に「授業目標、概要、助言、学習支援方法、成績評価方法」等を記載し、年間授業開講予定表とともに初回授業時に配布している。</li> <li>授業計画書（シラバス）をホームページ上で公開している。</li> </ul>
成績評価の基準・方法 （概要）
<ul style="list-style-type: none"> <li>成績評価は定期試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行うことを「学則」に明示している。</li> <li>学生便覧に「学則」を掲載して成績評価、課程の修了等に関する基準を明記する</li> </ul>

とともに、「試験規程」にて各種判定（試験、進級、卒業）に関する基準も掲載している。
卒業・進級の認定基準
(概要) ・卒業認定については学則第 4 章第 14 条において「本校の教育課程の修了または卒業は、所定の過程の授業科目がすべて合格したものについて進級判定会議及び卒業判定会議で成績評価のうえ学院長が認める。」と明記されている。
学修支援等
(概要) ・補習講義、特別対策授業、個別指導の実施。 ・担任制による学生へのきめ細やかな個別対応。 ・学生、保護者及び担任による三者面談の実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25 人 (100%)	2 人 ( 8.0%)	16 人 ( 64.0%)	7 人 ( 28.0%)
(主な就職、業界等)			
鍼灸院、鍼灸接骨院、クリニック、高齢者福祉施設			
(就職指導内容)			
キャリアデザイン講座、就職ガイダンス、就職説明会			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
はり師、きゅう師、ボディトリートメントセラピスト（日本アロマコーディネーター協会認定資格）、日本赤十字救急法救急員（日本赤十字社）			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
83 人	7 人	8.4%
(中途退学の主な理由)		
学校生活不適応、経済的理由による就学継続困難、学業不振等		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
担任による学生個別相談ならびに保護者を含めた三者面談の実施		

①-2 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復学科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2750時間	2060時間	—時間	180時間	—時間	510時間
			2750時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
180人		163人	0人	7人	14人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） <ul style="list-style-type: none"> <li>授業計画書（シラバス）に「授業目標、概要、助言、学習支援方法、成績評価方法」等を記載し、年間授業開講予定表とともに初回授業時に配布している。</li> <li>授業計画書（シラバス）をホームページ上で公開している。</li> </ul>
成績評価の基準・方法
（概要） <ul style="list-style-type: none"> <li>成績評価は定期試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行うことを「学則」に明示している。</li> <li>学生便覧に「学則」を掲載して成績評価、課程の修了等に関する基準を明記するとともに、「試験規程」にて各種判定（試験、進級、卒業）に関する基準も掲載している。</li> </ul>
卒業・進級の認定基準
（概要） <ul style="list-style-type: none"> <li>卒業認定については学則第4章第14条において「本校の教育課程の修了または卒業は、所定の過程の授業科目がすべて合格したものについて進級判定会議及び卒業判定会議で成績評価のうえ学院長が認める。」と明記されている。</li> </ul>
学修支援等
（概要） <ul style="list-style-type: none"> <li>補習講義、特別対策授業、個別指導の実施。</li> <li>担任制による学生へのきめ細やかな個別対応。</li> <li>学生、保護者及び担任による三者面談の実施。</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
30人 （100%）	1人 （ 3.3%）	19人 （ 63.3%）	10人 （ 33.3%）

(主な就職、業界等)
接骨院、鍼灸接骨院、整形外科医院、スポーツクリニック、高齢者福祉施設
(就職指導内容)
キャリアデザイン講座、就職ガイダンス、就職説明会
(主な学修成果(資格・検定等))
柔道整復師、ボディトリートメントセラピスト(日本アロマコーディネーター協会認定資格)、日本赤十字救急法救急員(日本赤十字社)、講道館柔道初段
(備考)(任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
132人	6人	4.5%
(中途退学の主な理由)		
学校生活不適應、経済的理由による就学継続困難、学業不振等		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
担任による学生個別相談ならびに保護者を含めた三者面談の実施		

### ①-3 学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		文化教養 専門課程	アスレティック トレーナー学科	-	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜間	1125時間	900時間	-時間	180時間	-時間	45時間
			1125時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		25人	0人	3人	13人	16人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画書(シラバス)に「授業目標、概要、助言、学習支援方法、成績評価方法」等を記載し、年間授業開講予定表とともに初回授業時に配布している。</li> <li>・授業計画書(シラバス)をホームページ上で公開している。</li> </ul>

成績評価の基準・方法 (概要)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成績評価は定期試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行うことを「学則」に明示している。</li> <li>・学生便覧に「学則」を掲載して成績評価、課程の修了等に関する基準を明記するとともに、「試験規程」にて各種判定（試験、進級、卒業）に関する基準も掲載している。</li> </ul>
卒業・進級の認定基準 (概要)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業認定については学則第 4 章第 14 条において「本校の教育課程の修了または卒業は、所定の過程の授業科目がすべて合格したものについて進級判定会議及び卒業判定会議で成績評価のうえ学院長が認める。」と明記されている。</li> </ul>
学修支援等 (概要)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・補習講義、特別対策授業、個別指導の実施。</li> <li>・担任制による学生へのきめ細やかな個別対応。</li> <li>・学生、保護者及び担任による三者面談の実施。</li> </ul>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
当該学年募集休止のため 卒業生なし 一人 (-%)	一人 (-%)	一人 (-%)	一人 (-%)
(主な就職、業界等)			
接骨院、鍼灸接骨院、整形外科医院、スポーツクリニック等			
(就職指導内容)			
キャリアデザイン講座、就職ガイダンス、就職説明会			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、スポーツプログラマー、健康運動実践指導者			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	1 人	11.1%

(中途退学の主な理由) 学校生活不適合、経済的理由による就学継続困難、学業不振等
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による学生個別相談ならびに保護者を含めた三者面談の実施

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
鍼灸学科	450,000 円	800,000 円	400,000 円	
柔道整復学科	450,000 円	800,000 円	400,000 円	
アスレティック トレーナー 学科	200,000 円	500,000 円	200,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/">https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>◆職業実践専門課程認定校としての社会的役割と貢献に向けた学校作りのために評価を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> 主な評価項目 教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、法令順守、授業評価アンケート結果</p> <p><input type="checkbox"/> 評価委員会の構成 学院外有識者 (職能団体所属・企業等役員・卒業生・PTA 等) を持って構成する</p> <p><input type="checkbox"/> 評価結果の活用方法 評価結果改善方策が決定後、速やかに担当部署に通知し教育活動改善、授業改善に活用する。(主に実技、実習内容)</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
公益社団法人 静岡県鍼灸師会	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	PTA
公益社団法人 静岡県鍼灸マッサージ師会	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	卒業生
公益社団法人 静岡県柔道整復師会	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	企業等役員

公益社団法人 静岡県柔道整復師会	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	職能団体所属 有識者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/">https://hamamatsu.morishima.ac.jp/school/disclosure/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://hamamatsu.morishima.ac.jp/">https://hamamatsu.morishima.ac.jp/</a>
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	専門学校浜松医療学院学校
設置者名	学校法人 森島学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		22人	19人	23人
内 訳	第Ⅰ区分	13人	12人	
	第Ⅱ区分	8人	6人	
	第Ⅲ区分	1人	1人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				23人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のものに限 り、認定専攻科を含む。）、高等専門 学校（認定専攻科を含む。）及び専門 学校（修業年限が2年以下のものに限 る。）			
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の 5割以下 (単位制によらない専門学校にあ っては、履修科目の単位時間数が 標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に 連続して該当	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限 り、認定専攻科を含む。）、高等専門 学校（認定専攻科を含む。）及び専門 学校（修業年限が2年以下のものに限 る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限 り、認定専攻科を含む。)、高等専門 学校(認定専攻科を含む。 )及び専門 学校(修業年限が2年以下のものに限 る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の 6割以下 (単位制によらない専門学校にあ っては、履修科目の単位時間数が 標準時間数の6割以下)	0人	人	人
G P A等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。